165. 長野市民病院における放射線オーダリングシステム —核医学検査部門—

Radiology Infomation System in Nagano Municipal Hospital
- Department of Nuclear Medicine -

長野市民病院 診療放射線科 ○横田 憲一 (K.Yokota) 藤沢 康彰 (Y.Fujisawa) 岡部 信秀 (N.Okabe)
若槻 貴志 (T.Wakatsuki) 宇野 康隆 (Y.Uno)
富士通㈱ 中部システム統括部 吉田 毅 (T.Yoshida)

〔目的〕 1995年6月に、新病院の開院にともない、患者サービスの向上・診療の効率化・情報のデータベース化等を目的として院内情報システムが導入された。核医学検査部門のオーダリングは、検査予約・放射性医薬品の管理等、難しい点が多くシステムの構築は困難でした。今回、我々は、核医学検査業務の自動化・省力化を目的に、検査予約・放射性医薬品の発注・放射性医薬品受入・使用・保管廃棄記録・各種帳票の発行を行い、また医事システムともオンライン化した。核医学検査部門のオーダリングと問題点を報告する。

〔概要〕 HOPE/EGMAIN: オーダリング・検査結果検索などを行う病院総合管理システム、HOPE/RADON: 放射線情報システム、HOPE/X: 医事会計システムです。放射線オーダリングシステムは、診察室や病棟のEGMAIN端末よりオーダ入力されたデータが、画像診断部サーバへ転送される（未受付状態）患者受付をすると、画像診断部受付でフィルム袋ラベルが出力される（受付状態）。各検査室で検査を実施する。会計情報は、検査終了後の実施入力により、オンラインで医事課のHOPE/Xに転送される。（実施済状態）また、各種統計処理の検索・帳票発行も行う。核医学検査情報システムは、RADON端末よりオーダ入力された情報により予約管理と薬品発注管理を行う。予約管理では、翌日のRI検査予定一覧を出力し、薬品発注管理では、発注画面を参照して、電話にて行う。検査終了後、フィルムのみの実施入力により会計情報がHOPE/Xにオンライン転送される。放射性医薬品管理では、診療用放射性同位元素記録簿・購入保管廃棄記録一覧表として出力する。

〔核医学検査予約〕 予約は、検査目的を確認するためにクローズ予約とし、電話によりRADON端末にて入力する。予約オーダの締切は、投与前日16時。患者・医師情報を入力し、検査の種類・検査名を選択、カレンダー画面でオーダ履歴を確認し、検査日時を選択後オーダ発行する。注射日時は、オーダ確認をすると画面に表示される。患者の年齢によって投与量、検査名によって放射性医薬品、検査日によって検定日が自動決定される。前処置は、医師又は看護婦がマニュアルにしたがって説明する。

〔RI薬品発注管理〕 発注管理画面の注射日で検索し、検査予定一覧と発注内容を確認して発注する。祝日に伴う検定日の変更は、訂正入力している。発注後、メーカー受付者を入力して発注ファイルに登録される。

〔放射性医薬品の管理〕 発注ファイル・実施入力情報から放射性医薬品受入・使用・保管廃棄記録画作成され記載内容の確認後、診療用放射性同位元素記録簿として出力する。

〔結果〕 1. 本システムにより、放射性医薬品・投与量・検定日が自動決定され、核医学検査未経験者でも検査予約・放射性医薬品の発注が可能になった。2. 放射性医薬品の管理は、記載内容の確認のみで、業務の省力化が計られた。3. RADONからEGMAINへオンライン化がされていないため、注射・検査日時を入力する必要がある。4. 禁則チェックの設定がないため、オーダ入力者による確認が必要である。

〔今後の課題〕 1. オープン予約・検査連絡システム・禁則システムを充実し、診療の効率化を計る。2. 放射性医薬品発注の自動化を進める。3. 祝日に伴う検定日変更の簡易化を進める。

放射線オーダリングシステム

核医学検査情報システム